

前回は、「自分」そして「次世代」とどう向き合うのかということが話された。今回は、「社会」「自分以外」とどう向き合うのかが大きなテーマとなった。いま、「寄り添う」という言葉が頻繁に使われているが、これほど気持ち悪いものはない。自分と向き合うこと。そして、人間・他者ときちんと向き合うことが「戦争の抑止」に大きな意味を持つのではないだろうか。（聞き手…根本敬 撮影…佐賀達 文責…岩渕望）

「科学の名で
科学を傷つけるな」

私は 判決は科学的知見を参考にしたものであるが、判決は司法の論理による司法の判断であること。科学の名による判決批判は、科学の名で科学を傷つけるものと批判した。放射線研究のプロたちが35名並ぶと実に壮観です。私はあらためて科学の役割について考えさせられた。私の意見書に

む おさ
紀 藤 さい
1975年福島医大卒、1977年
広島大学原爆放射能医学研究所、
1988年総合病院福島生協研究所、
島市院長を経て2009年以降、医
療生協わたり病院・福島市。現在、
福島医療生活協同組合理事長、ふれ
あいクリニックさくらみず所長。

性的自認と家族制度、
そして戦争

齋藤 難しいね。根本さんが説明した部分は、自民党保守派からいうと混沌の世界にとんでもない世界に迷い込むと懸念しているものです。

根本 今、確かに女性の兵士も増えてますけど、軍隊内でのセクハラとか凄まじいじゃないですか。やっぱりまだ男社会で力があるものっていう形になってなるけど、本当に性的自認の問題とか、その本当の意味でのジェンダー平等になってきたら、これ、戦争は成り立たないと思う。

ガザで起きていること

齋藤 ガザに触れていい？イスラエル・パレスチナの問題はロシア・ウクライナの問題を凌駕するマグマとも言えます。赤ちゃんが保育器で死んでゆく出来事は辛いけど象徴的と感じています。ユダヤ人がホロ



なもと さとし



富田書局代表取締役社長

根本 そのジェノサイドって形だけど、普通やらないだろうと、私は思っていたわけですよ。まさにせん滅ですよ。

根本 いや、楽しかったですね。この対談すべてが活字にはなりません。

今日はありがとうございました。

政府・東電交渉

12月19日政府・東電交渉が東京で行われ、福島県内からは60名以上の方が参加しました。首相官邸前では代表者が政府に対し怒りの発言をし、参加者全員が気持ちを一つにして怒りのシュプレヒコールを響かせました。ALPS処理汚染水の海洋放出や原発新增設など多くの問題は解決していません。私たち農民連はこれからも声を上げ闘い続けます。

能登半島地震への支援始まる

2024年1月1日、石川県能登地方を震源とする「能登半島地震」が発生しました。福島県農民連は1月3日直ちに、支援物資を石川県農民連と日本共産党石川県委員会へ届けました。能登半島では古い家屋の全壊や道路の陥没が多数発生しています。13年前の震災対応の教訓を生かし、震災支援を継続していきます。

オンラインストア始めました。
あまざけや有機米などが
ご購入いただけます！

こちらの
QRから

